

TOAの路面性状計測

[NETIS: KT-170103-VR]

CHASPA

Characteristics Surveyor of Pavement



舗装アセットマネジメントに必要な基礎データを
正確/迅速に測定します

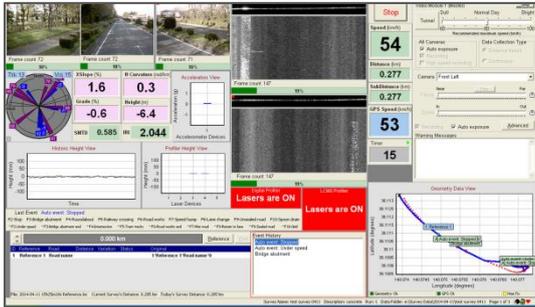
CHASPAは舗装の計画的・効率的な維持管理に必要な路面性状データを、正確かつ迅速に測定するための調査測定機です。最先端の3Dレーザーセンサをはじめとする各種の計測ユニットを備え、「ひび割れ」「わだち掘れ」「平坦性」といった路面性状データを同時に計測することができます。一般車両と同程度の速度で走行しながら計測するため、交通規制の必要はありません。

また、アセットカメラによる前方路面画像の等間隔撮影、IRI (International Roughness Index) の計測、路面テクスチャの指標であるMPD (Mean Profile Depth) などの計測も行えます。



各種データを同時取得

車両に様々な計測ユニットを備え、路面性状3要素のほか、前方3方向の路面画像、乗り心地指標IRI、路面テクスチャ指標MPDなどを取得します。すべてのデータはGPS位置情報と紐付いています。



高精度な計測デバイス

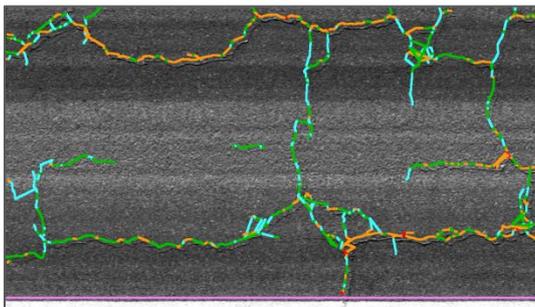
最先端の3Dレーザーセンサを2基搭載し、高解像度の路面プロファイルデータ（ひび割れ、わだち掘れ）を取得することが可能です。

※ サンプリングレート 5600profiles/s 横断方向解像度 1mm 4096点



ひび割れ自動検出

Automatic Crack Detection (ACD) によってひび割れや外側線を自動的に抽出します。従来、多大な時間と労力が掛けられていたひび割れの解析効率が大幅に向上されました。



適用箇所

正確な位置情報を有するデータは、管理道路の供用性を把握するネットワーク調査に有効です。自動車専用道路、国道、都道府県道、市町村道などのほか、民間施設の構内道路、港湾空港施設でも多くの実績があります。



データの活用

測定データは舗装インフラの効果的なマネジメントに必要な基礎データとなります。（道路ストックの総点検に対応）当社ではこれらのデータをより効果的に活用できるように開発した【TOA-PMMS】シリーズを揃えています。いつ、どこが、どのくらい損傷が進行しているかを、直感的な操作で容易に把握することができます。もちろん帳票の出力にも対応しています。

